

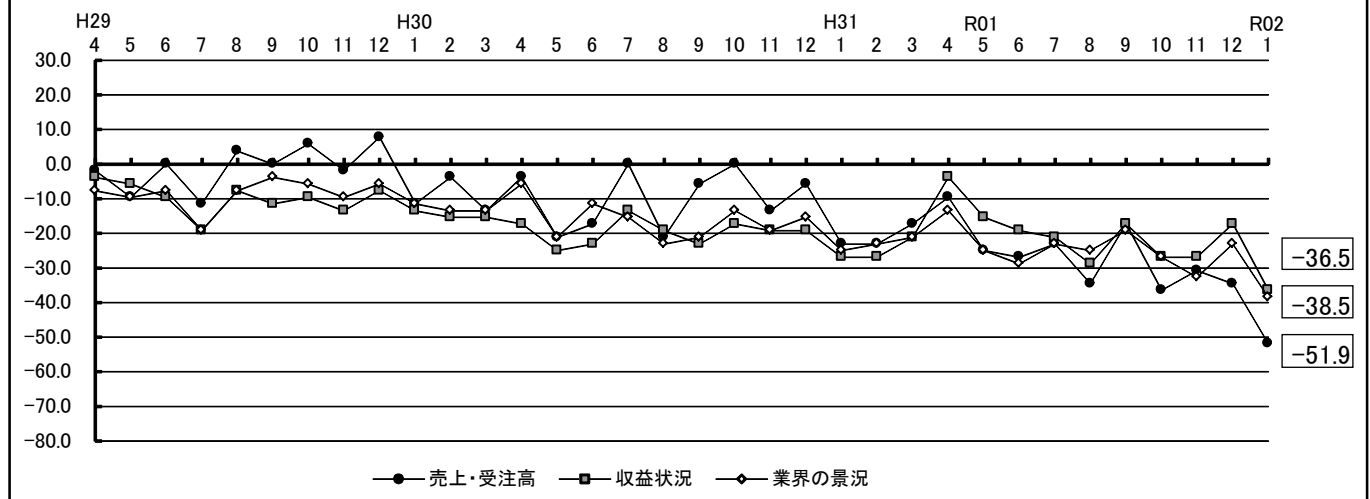
中小企業団体情報連絡員報告結果(令和2年1月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 1月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中1指標が上昇、7指標が下降した。全体的に大きなマイナスとなり、景気の落ち込みが色濃く反映される結果となった。特に、「売上高」、「収益状況」及び「業界の景況」の主要3指標が大きく減少し、ここ数年で最も下降した月となった。景況感の悪化は業種を問わずみられ、高まる先行き不透明感を懸念する声が聞かれた。
- 深刻化する人手不足や燃料価格の高止まりなど不安材料が多く存在する中、新型コロナウイルスの発生により多くの業種に影響が出ており、今後の経済活動の全体的な停滞が懸念される。
- 暖冬の影響により、衣料品の発注数・生産ロットの減少や衣料系テナントの不振などが相次いでいるほか、鍋物需要の停滞による販売数量の減少なども発生しており、予断を許さない状況が続いている。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-51.9	-17.3	-36.8	-7.7
収益状況	-36.5	-19.2	-36.0	-7.7
業界の景況	-38.5	-15.4	-40.2	-5.6

売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より17.3ポイント下降し、-51.9ポイントとなった。全国においては、前月より7.7ポイント下降し、-36.8ポイントとなった。

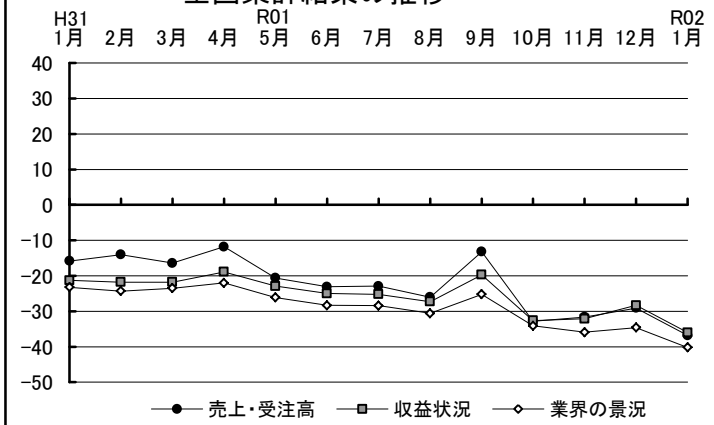
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より19.2ポイント下降し、-36.5ポイントとなった。全国においては、前月より7.7ポイント下降し、-36.0ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より15.4ポイント下降し、-38.5ポイントとなった。全国においては、前月より5.6ポイント下降し、-40.2ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

1月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「在庫数量」の1指標が上昇、「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「業界の景況」の7指標が下降した。

主要3指標では、「売上高」「収益状況」「業界の景況」いずれも大きく下降し、それぞれ-51.9ポイント、-36.5ポイント、-38.5ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中1業種が上昇、3業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、2業種が下降した。「収益状況」は製造業で7業種中1業種が上昇、3業種が下降し、非製造業で6業種中3業種が下降した。「業界の景況」は製造業で7業種中1業種が上昇、3業種が下降し、非製造業で6業種中3業種が下降した。

深刻化する人手不足や燃料価格の高止まりなど不安材料が多く存在する中、新型コロナウイルスの発生により多くの業種に影響が出ており、今後の経済活動の全体的な停滞が懸念される。また、暖冬の影響により、衣料品の発注数・生産ロットの減少や衣料系テナントの不振などが相次いでいるほか、鍋物需要の停滞による販売数量の減少なども発生しており、中小企業を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いている。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	○	△	△	×	△	△	△	×
繊維・同製品	×	△	△	×	×	×	△	△	×
木材・木製品	×	△	△	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	×	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	×	△	△	△	×	△	×	△	×
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	×	—	△	×
サービス業	×	—	△	△	△	△	—	×	×
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	×	—	△	△	×	△	—	△	×
その他	×	—	△	△	△	△	—	△	×

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-100.0	50.0	0.0	-25.0	-75.0	-25.0	-25.0	0.0	-75.0
繊維・同製品	-75.0	-25.0	0.0	-50.0	-50.0	-50.0	-25.0	0.0	-50.0
木材・木製品	-50.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-50.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
鉄鋼・金属	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
一般機器	-75.0	0.0	0.0	-25.0	-75.0	-25.0	-50.0	0.0	-50.0
製造業	-56.0	0.0	-8.0	-16.0	-40.0	-20.0	-24.0	0.0	-40.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	33.3	0.0
小売業	-57.1	-28.6	0.0	-14.3	-57.1	-42.9		0.0	-57.1
サービス業	-83.3		0.0	-16.7	-33.3	-33.3		-66.7	-50.0
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	-50.0		0.0	0.0	-50.0	0.0		0.0	-50.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-50.0
非製造業	-48.1	-20.0	0.0	-7.4	-33.3	-18.5		-11.1	-37.0
全体	-51.9	-5.7	-3.8	-11.5	-36.5	-19.2	-24.0	-5.8	-38.5

図表3～【指標別DI値の推移】

	31年 1月	2月	3月	4月	元年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	前月 比
売上高	-23.1	-23.1	-17.3	-9.6	-25.0	-26.9	-23.1	-34.6	-17.3	-36.5	-30.8	-34.6	-51.9	-17.3
在庫数量	-8.6	-17.1	-17.1	-17.1	-28.6	-20.0	-20.0	-14.3	-8.6	-20.0	-14.3	-8.6	-5.7	2.9
販売価格	0.0	1.9	-1.9	1.9	3.8	0.0	5.8	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	-3.8	-7.6
取引条件	-15.4	-11.5	-13.5	-7.7	-3.8	-1.9	-5.8	-9.6	-9.6	-9.6	-11.5	-9.6	-11.5	-1.9
収益状況	-26.9	-26.9	-21.2	-3.8	-15.4	-19.2	-21.2	-28.8	-17.3	-26.9	-26.9	-17.3	-36.5	-19.2
資金繰り	-15.4	-9.6	-11.5	-3.8	-5.8	-7.7	-11.5	-15.4	-11.5	-19.2	-13.5	-13.5	-19.2	-5.7
設備操業度	-16.0	-8.0	-8.0	0.0	-4.0	-4.0	-4.0	-20.0	-20.0	-16.0	-8.0	-12.0	-24.0	-12.0
雇用人員	0.0	0.0	-3.8	3.8	0.0	-3.8	-5.8	-3.8	-1.9	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	0.0
業界の景況	-25.0	-23.1	-21.2	-13.5	-25.0	-28.8	-23.1	-25.0	-19.2	-26.9	-32.7	-23.1	-38.5	-15.4

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-100.0	-25.0	-25.0	0.0	-75.0	-25.0	-50.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
木材・木製品	-50.0	50.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	25.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
鉄鋼・金属	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
一般機器	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
製造業	-24.0	4.0	-8.0	-4.0	-16.0	-4.0	-12.0	0.0	-12.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		33.3	0.0
小売業	14.3	0.0	-14.3	0.0	0.0	-14.3		0.0	-28.5
サービス業	-50.0		-16.7	0.0	-66.6	-16.6		-16.7	-33.3
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	-25.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-50.0
非製造業	-11.1	0.0	-7.4	0.0	-22.2	-7.4		0.0	-18.5
全体	-17.3	2.9	-7.6	-1.9	-19.2	-5.7	-12.0	0.0	-15.4

特記事項

情報連絡員報告（令和2年1月分）

所属組合	特記事項
酒類製造業	老舗の蔵元が事業停止になるなど、厳しい景況が続いている。
縫製業	昨年よりも、春物の発注数及び生産ロットが減少し、厳しい状況となっている。
染色整理業	業況は安定している。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	昨年秋頃からレース企画の減少傾向を感じていたが、今年に入り量産の発注が著しく減少した。流行によるものというよりは、景気の減退による影響であると感じる。また、新型コロナウイルスの影響懸念があり、今後の事業活動を注視する必要がある。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりは無い。また、従業員の確保が難しくなっている。
石灰製造業	鉄鋼関係は減産傾向のため出荷減となった。肥料関係は若干の減少となった。建材関係は徐々に物件が出始めているが、本格的な動きにはまだ達していない。全体的には減少傾向となった。
砕石製造業	4～12月の累計出荷量は、昨年比で7%減となった。
金属製品製造業	売上低下・人件費増加・人手不足により、自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも低下した。
一般機械器具製造業	売上がやや減少し、それに伴い収益状況もやや悪化した。企業間格差があるため一概には言えないが、今後の見通しについては不変と考えている組合員が多い。新型コロナウイルスによる今後の世界的な経済悪化が懸念されるため、注意深く対応していく必要がある。
一般機械器具製造業	著しく悪い景況が続く中、大企業や1次・2次下請け企業は生き残れるが、それより下の中小零細企業はだんだんと整理されていく状況になっていくと予想される。また、新型コロナウイルスの影響も懸念される。
各種商品卸売業	一部の組合員に売上減や収益悪化がみられるものの、全体として大きな業況変化はない。
食肉小売業	気候の変動や暖冬の影響により、鍋物需要の動きが小さく、販売数量が低迷している。
各種商品小売業	厳しい年明けとなった。人出はあるものの、消費にはなかなか結び付かず、景況感の悪化による消費者の買い控えを肌で感じた月であった。

各種商品小売業	年明けの正月商戦は比較的好調に推移したが、中旬以降の落ち込みが激しく、結果的にほぼ前年並みであった。1月に限らず、暖冬の影響により、婦人服衣料系テナントの苦戦が目立つ。降雪も困るが、暖冬も売上下落の原因になると改めて感じた。
花・植木小売業	例年、1月は寒さの影響と年末商戦の反動から店頭への来客は少なく、葬儀など業務を中心とした動きとなる。業務需要で引き合いの強い輪菊、スプレー菊、ストック、スナップ、白カーネーション等を中心に高値傾向で推移しているものも見られたが、全体では5%程度の単価安での市況推移となった。
理容業	組合員数の減少が課題となっているが、ここ数ヶ月は減少がストップしている。このまま大きな減少が発生しないよう、組合のメリット等をアピールしていきたい。
自動車整備業	1月は繁忙期だが、思ったより売上が伸びず、売上高は減少傾向である。
旅館・ホテル	宿泊に関しては、1月は例年15日前後が動き始めとなるが、今年は20日を過ぎてからの動き出しとなり、その分売上高が減少した。宴会に関しては、ここ数年のトレンド通り、同伴数程度受注したが、1月の宴会受注件数として考えると物足りなさを感じる結果となった。飲食店利用に関しては、ここ数年で最も悪い売上であった。
ビルメンテナンス業	ビルメンテナンス業及び廃棄物収集運搬業でやや受注高が減少しているものの、累計の業績は好調に推移している。
給食センター	産業弁当の値上げを実施したが、不採算部門の撤退等により昨年度より若干の売上高減少となった。配送の燃料費の高騰や最低賃金引上げなどで厳しい状況ではあるが、食材費の減少や新規の得意先の開拓・新商品の開発により、収益も良くなると思われる。
内装工事業	当組合の防災ラベル支給枚数からみると、カーテン用ラベルは2%増、敷物用ラベルは30%減、壁装用ラベルは28%減であった。全体的に、売上高が11%減となった。
一般貨物自動車運送業	ドライバー不足が深刻化しており、荷主からの受注対応に苦慮している。燃料価格もほぼ一貫して高止まり状態であり、厳しい経営環境となっている。
貨物軽自動車運送業	正月明けから中旬までは、荷主様からの依頼も減り、例年よりかなりスローなスタートとなったが、下旬から急激に物流が動き出し、配車におわれる日もあった。昨年よりも、引越し予約の問い合わせが多く、引越しシーズンに期待がもてる。
一般乗用旅客自動車運送業	令和2年に入ってから、お客様を待つ時間が長くなってきたように感じる。数字をみても、前年比で3%弱落ち込んでいる。また、新型コロナウイルスの影響懸念があり、先行き不透明感が漂っている。
大谷石採石業	全体的に動きが悪い。